お悩みの
パークの問題 片づけます！
お任せください！
大阪展小間番号204
(全日本クリーニング機材商協議会)
無料相談

汚染地買取
瑕疵担保免責
現状有姿
浄化工事
責任施工
資産価値
最大化
■汚染土地買取・浄化・有効活用
株式会社 ビーエフマネジメント
TEL：03-3526-5170
住所：東京都千代田区神田須田町2-5-2
URL：http://www.bf-management.co.jp

ビーエフマネジメント

機材商の汚染対策推薦企業に
横浜パーク汚染地対応も公開
小間番号204（機材商協議会内）

業界が抱える重い課題（パークによる土壌汚染）で、現状の汚染地を取得し、土地所有者に代わってリスクを負いながら浄化とマネジメントをワンストップで行い、問題を解決して汚染地の流動化を図る土壌環境事業専門企業集団㈱エンバイオ・ホールディングス・グループ（＝EBH、東京都）の実績が着実に積み上げられている。

まずは東京・練馬のクリーニング工場跡地の解決で業界に知られるようになり、今年も横浜、千葉と買取・浄化活動が加速。また直近のニュースとしてお伝えした360坪の埼玉の操業中工場における調査、測量、売買決済、工場解体、絞込調査に至った発表も目覚しいところだ。それぞれに「汚染問題の解決に悩んでいるところを的確なサポートと、リーズナブルな展開で〝パーク汚染地を売却できた〟との率直な声が聞かれた。

7月横浜のCL工場詳細・絞込調査

同・浄化工事、酸化剤混合撹拌

EBHは土壌汚染の調査、対策・コンサルティング、専門資機材販売会社の集合体だが、汚染土地（ブラウンフィールド＝BF）のマネジメント（M）を担っているのが、社名通り汚染土地流動化に特化した会社＝BFM㈱ビーエフマネジメント（東京、市川浩一社長）で浄化・買取事業のフロントに立っている。

問題解決の実績評価

同社はこのほど、「業界の長年の懸案事項＝パーク問題解決の一策として《操業中のガス調査実施》を推進する（廃業前に自主的に調査・対策することでより幅広い柔軟な対策を講じることになる）」を目標に掲げた全日本クリーニング機材商協議会（鈴木喜義会長）から推進を実現する『実施業者として推薦』を受けることとなった。

協議会が配布する添付資料の通り、「練馬工場の浄化売却実績、さらに埼玉・草加工場など解決に貢献した」ことが評価されてのものだ。

また、同会は業界の問題解決に積極的に取り組むため、11月15日からのCLV21大阪に協議会ブース（小間番号204）としてビーエフ社も交えて出展し、より広範に問題解決を訴える。

市川ビーエフ社長は、「土壌汚染は工場の立地条件ほか多様な個別問題が絡み、行政対応など厄介な交渉事もある。しかし、いくら先伸ばしをしても問題は解決できません。各地の事例や交渉実績が役立つ世界であり、どうぞ遠慮なくご相談下さい」としている。

最新の横浜工場事例

また、大阪展及び直後の11月19日㈫、東京・五反田での全協環境保全大会（2面参照）で、市川社長は最新事例として横浜市の閉鎖CL工場解決を発表する。こちらは敷地面積40坪、昭和50年代に建物竣工したものでパーク使用履歴あり。EBHは土地・建物両面での環境リスクに対してグループの〈環境リスクソリューション〉をワンストップで実施し、7月絞込調査、浄化工事を10月末に完了し、現状有姿・瑕疵担保免責購入事例として紹介する。

これらの実績を踏まえて「お悩みのパーク汚染の問題はどうぞお任せ下さい」とビーエフ社はアピールしている（電話03・3526・5170同社）。